

## 7. おわりに

今回のトレンチ調査は、MTA にとっては初めての経験であり、地質調査所にとっても海外での初めてのトレンチ調査であった。それにもかかわらず、カウンターパートとの緊密な協力により、短期間ながら数多くの成果を示すことができ、トルコの地震予知に大きく貢献できたと信じている。

最後に、このような成果をもたらした技術協力を可能にして下さった国際協力事業団の方々、貴重な時間をさいて調査の便宜を図って頂いたゲレデ町長および土木部長、トルコ滞在中に公私ともにお世話になった藤井紀之氏、<sup>14</sup>C年代を測定して頂いた海洋地質部の茅根 創氏に心から感謝します。

### 文 献

Allen, C. R. (1969): Active faulting in Northern Turkey. California Inst. Technology Contr., 1577, 1-32.  
 Ambraseys, N. N. (1970): Some characteristic features of the Anatolian fault zone. Tectonophysics, 9, 129-142.  
 Ambraseys, N. N. (1988): Engineering Seismology. Earthquake Engineering and Structural Dynamics, 17, 1-

105.

Ambraseys, N.N. and Finkel, C. F. (1988): The Anatolian earthquake of 17 August 1668. Historical Seismograms and Earthquakes of the World, 173-180.  
 Ikeda, Y. (1988): Recent activity of the İznik-Mekece Fault at Corak Stream, east of İznik. Multidisciplinary Research on Fault Activity in the Western Part of the North Anatolian Fault Zone, 15-26.  
 Ikeda, Y., Suzuki, Y., Herece, E., Şaroğlu, F., İşikara, A.M. and Honkura, Y. (in press): Geological evidence for the last two faulting events on the North Anatolian fault zone in the Mudurnu Valley, western Turkey. Tectonophysics, in press.  
 奥村晃史・Kuşçu, İ・Erendil, M・Özdemir, H. (1989): トルコ、北アナトリア断層西部の変動地形. 地理予, no. 36, 216-217.  
 Şengör, A. M. C. (1979): The North Anatolian transform fault: its age, offset and tectonic significance. Jour. Geol. Soc. Lond., 136, 269-282.

YOSHIOKA Toshikazu, OKUMURA Koji and İsmail KUŞÇU (1991): Trench excavation of the North Anatolian Fault, Turkey.

<受付: 1990年11月6日>

## ジャパンストンフェア'91

会期: 1991年7月11日(木)~14日(日)  
 会場: 日本コンベンションセンター(幕張メッセ)  
 入場料: 1,000円

生活様式の高級化、本物指向と共に天然石材の需要が急速にのびております。特に先カンブリア時代に至る豊富な産地を背景にした外材は多様なバリエーションを持ち、その輸入量は急速にのびております。この様な時期に日本で初めてストーンフェアが開かれることは時期を得た企画と言えます。

ストーンフェアは大理石の産地イタリアを中心に、カラー大理石フェア(5月)、ペローナフェア(9月)などが世界的に有名で、他にスペイン、ドイツ、カナダなどで毎年開催されています。これらはいずれも石材生産地であり、今回消費国の日本で初めて開かれることは大変興味深く、国際的にも注目されております。

